北海道平取町

住所	〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地
首長名	遠藤 桂一
HP	https://www.town.biratori.hokkaido.jp/index.html
バイオマス産業都市選定年度	2015年
バイオマス産業都市構想	2020年度改訂版 https://www.town.biratori.hokkaido.jp/material/files/group/7/01946047.pdf
担当部署	まちづくり課 ゼロカーボン推進係
連絡先 TEL	01457-2-2222
連絡先 E-mail	zero.carbon@town.biratori.lg.jp

平取町バイオマス産業都市構想 ~エネルギーの地産池消をめざして~

平取町公式キャラクター ビラッキー

木質バイオマスの大きな可能性 ・総面積743.09km² ・森林面積627.95km² 85%が森林 林地残材等の利用

めざすべき将来像

- ①新たな熱供給公社の設立による木質 パイオマスの熱利用及び電力利用
- ②木質バイオマス利用に係る新たな産業 の創出
- ③バイオマスの活用と平行したコンパクト なまちづくり



①農業ハウス用燃料のバイオマス化

- ・トマトハウス用暖房を現在の灯油から、チップ・ペレットなど木質系ボイラーへの転換を図る。
- ・熱供給公社などの設立で、より安価で求めやすい熱を提供し、農業事業の負担軽減を図る。





事業化プロジェクト

- ①農業ハウス用燃料のバイオマス化 ②公共施設への率先導入計画の推進
- ③木の駅プロジェクトの事業化
- ④太陽光発電の設備の運用

④太陽光発電設備の運用

・バイオマス産業化をめざすにあたり、地域 の低炭素化や遊休土地の有効利用などの 観点から、地方自治体が事業主体となり、 FIT(固定価格買取制度)を活用した太陽光 発電施設の運用を図る。



②公共施設への率先導入計画

・バイオマス化の初期段階として、公共施設の暖 房施設の木質燃料化を検討する。

現在、建て替えを予定している平取町立国保病院、平取町役場(本庁舎)や現在オール電化で、電力の高騰に伴う経費増大が問題化している中央公民館への導入を図る。





③木の駅プロジェクトの概要

・木の駅プロジェクトは、地域通貨や雇用創出と絡ませた「林地残材収集システム」のソフト事業。大規模なプランかがなくとも、販路のない間伐材、林地残材などを収集・搬出し、副業的な収入が生まれることでの、増域経済の循環を図る仕組みを構築し、連用してしてことができる。



I 事業化プロジェクト

【表 1:プロジェクト一覧表】

項目	名 称	現 状
プロジェクト 1	公共施設への率先導入計画	実施中
プロジェクト 2	農業ハウス用燃料のバイオマス化	検討中
プロジェクト 3	木の駅プロジェクトの事業化	検討中
プロジェクト 4	太陽光発電設備の運用	その他(中断)
プロジェクト 5	生ごみバイオガス化・消化液化プロジェクト	その他(中断)

プロジェクト1の概要

名称		公共施設への率先導入計画
実施主体		平取町
使用する技術	ប៊ែ	木質バイオマス発電・熱利用
実施体制	プラントメーカー	フォレストエナジー、WB エナジー
	設計・施工業者	設計:Fan 建築設計 施工:楠建設
概要 (計画)	バイオマス原料	チップ



バイオマスセンター施設全体



バイオマスボイラー



熱電併給機

プロジェクト2の概要

名称		農業ハウス用燃料のバイオマス化
実施主体		平取町
使用する技	術	木質チップ・ペレット製造
_	バイオマス原料	木質チップ・ペレット
	原料処理量(t/年)	
概要 (計画)	木質チップ	2,782
(計四)	ペレット	209
	熱利用(MJ/年)	40,385,000

プロジェクト3の概要

名称	木の駅プロジェクトの事業化
実施主体	平取町

プロジェクト4の概要

名称	太陽光発電設備の運用
実施主体	平取町

プロジェクト5の概要

名称		生ごみバイオガス化・消化液化プロジェクトの事業化
実施主体		平取町
使用する技術		メタン発酵バイオガス発電
	バイオマス原料	生ごみ
	原料処理量(t/年)	2,630
概要	発電量(kwh/年)	716,000
(計画)	FIT/FIPの適用	■FIT適用 □FIP適用 □FIT/FIP対象外
	バイオ液肥生産量	
	(t/年)	5,878

Ⅱ 脱炭素化の取組状況や取組方針

Ⅱ-1 地域における脱炭素に関する計画について

計画名称等	策定年度(選定年度)
地方公共団体実行計画 (区域施策編)	2024年度 https://www.town.biratori.hokkaido.jp/material/files/group/7/kuikisesakuhonpen.pdf
ゼロカーボンシティ宣言	2022年度 https://www.town.biratori.hokkaido.jp/material /files/group/7/53622693.pdf

Ⅱ-2 地域における脱炭素化に関する取組概要

- ・バイオマス (木質チップ) による公共施設への熱・電気の供給 (バイオマスボイラー、熱電併給機の導入)
- ・住宅用の太陽光発電・蓄電池の設置補助
- ・EV普及に向けたインフラ整備(EV充電器の設置)

Ⅱ-3 2030年度までに目指す地域における脱炭素化実現のイメージ

